

## 2025 年 12 月期第2四半期決算説明会 質疑応答

(回答者:西森社長・中西執行役員)

参考資料:

決算説明資料

新規事業説明資料

Q1. CAC Vision 2030 について、来年は中期経営計画フェーズ 2 にあたりますが、目標数値に変更はありますか。

A1. A1. 【西森社長】来年から始まるフェーズ 2 については、AI 技術の進展やグローバルビジネスにおけるリスクなどの外部環境に加え、M&A や新規事業・グローバル事業などの内部環境も踏まえて、新たに目標を設定する予定です。現在、M&A はまだ成果が出ていませんし、AI 分野は投資負担が大きく、どの程度のリターンが得られるかを慎重に見極めています。現在のフェーズ 1 を振り返ったうえで、フェーズ 2 の目標数値を設定する必要があると考えています。具体的な数値は現在検討中であり、詳細は 2026 年 2 月の決算説明会でお伝えしたいと考えています。

Q2. 上期業績の進捗が低調で通期目標達成に向けては、「案件強化」のみでしたが、M&A 次第ということでしょうか。具体策を教えてください。

A2. 「案件強化」とは、決算説明資料 P.14 の受注高・受注残高でご説明したとおり、海外 IT 事業で複数のハードウェア売り案件が商談中であり、大型案件が決まれば売上計上できる見込みがあることを指しています。加えて、下期も M&A に注力しており、これもプラス要因になると考えています。

Q3. CAC 本体での AI 活用はどの程度ありますでしょうか。

A3. 【西森社長】当社の AI Transformation には主に 3 つの施策があります。1 つ目は、システムインテグレーター事業において自社製 AI エージェントをプロジェクトに試験的に組み入れる取り組みです。2 つ目は、AI 導入・運用プラットフォーム事業で、代表的な製品が「OCTOps(オクトパス)」です。これは大規模言語モデル(LLM)ではなく、小規模言語モデル(SML)を用い、顧客向けに最適化しています。引き合いも増えており、今後も注力していきます。3 つ目は、BPO 事業における業務自動化です。これまで労力がかかっていた業務を生成 AI で削減する取り組みに力を入れています。

Q4. ガバナンス体制の見直し内容の具体的なものを教えてください。

A4. 【西森社長】社外役員はスキルマトリックスに基づき、当社に必要なスキルを持つ方を選任しました。また、執行体制も強化し、現状では 5 名体制です。CFO や CTO を設置し、それぞれの役割を強化しています。

Q5. 決算説明資料 P.28 で AI 推進が重点施策とありました。現時点で業績への影響はありますか。顧客向けの AI 関連売上や社内での AI 活用による生産性向上の事例、今後の見通しを教えてください。

A5. 【西森社長】現時点では業績への明確な影響はありませんが、生産性向上に寄与するプロダクトは出てきています。特に AI エージェントの活用が重要であり、当社でも独自開発を進め、現場への適用方法を検討しています。顧客からの問い合わせもあり、準備状況を報告しています。業界全体として、人月ベースの見積もりは AI エージェントの影響を受ける可能性が高いため、動向を注視しつつ先行して取り組みたいと考えています。業績への定量的な影響は現時点で見極められませんが、一定の影響は見込んでおり、フェーズ 2 では当社なりの対応策をまとめます。

Q6. 新規事業が複数立ち上がっていますが、現状は赤字先行との認識です。黒字化しているプロダクトはありますか。また、撤退基準はありますか。

A6. 【中西執行役員】新規事業開始から約 1 年間は準備期間でしたが、最長でも準備期間は 2～3 年以内としています。順調に進んでいるプロダクトや、M&A で取得した事業の中には一部黒字化しているものもあります。撤退基準は「開始から 3 年以内に単月黒字化」としていますが、市場環境の変化が激しいためあくまで目安です。現時点でこの基準に該当している事業はありません。

Q7. 新規事業は 2030 年に売上 100 億円規模を目標としていますが、決算説明資料 P.18 では 2024 年度のプロダクト＆サービス(P&S)売上が 81 億円です。5 年後の目標としては控えめな印象ですが、その理由を教えてください。

A7. 【中西執行役員】決算説明資料でご覧いただきました P&S 売上には、既存のシステムインテグレーター事業から転換を図ったものと、新規に立ち上げた事業の両方が含まれています。同 P.18 にある 81 億円のうち、新規事業の売上は数億円程度で、大半は既存事業によるものです。したがって、現状の数億円規模の新規事業を 2030 年までに 100 億円へ拡大し、その増加分が P&S 全体に上乗せされていく想定です。

以上